

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント 上場取引所 東  
 コード番号 2124 URL http://corp.jac-recruitment.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長・COO (氏名) 松園 健  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長・CFO 管理本部長 (氏名) 服部 啓男 (TEL) 03-5259-6926  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績 (平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	5,370	16.6	1,515	39.4	1,516	38.8	904	70.8
24年12月期第3四半期	4,604	23.4	1,087	62.7	1,092	62.5	529	△0.1

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 904百万円( 70.8%) 24年12月期第3四半期 529百万円( △0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	135.56	135.49
24年12月期第3四半期	80.02	79.63

(注) 当社は平成25年1月1日付で普通株式1株につき10株の割合をもって株式を分割しておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	4,546	3,752	82.5
24年12月期	4,466	3,044	68.2

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 3,752百万円 24年12月期 3,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	300.00	300.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	48.00	48.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は平成25年1月1日付で普通株式1株につき10株の割合をもって株式を分割しております。このため、平成25年12月期(予想)における期末配当金については、当該株式分割後の数値で算定しております。

3. 平成25年12月期の連結業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,352	20.2	1,825	33.1	1,825	32.6	1,059	58.0	158.70

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は平成25年1月1日付で普通株式1株につき10株の割合をもって株式を分割しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	6,882,000株	24年12月期	6,882,000株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	205,930株	24年12月期	214,930株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	6,672,090株	24年12月期3Q	6,618,528株

(注) 当社は平成25年1月1日付で普通株式1株につき10株の割合をもって株式を分割しておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループのセグメント区分は、経営単位である拠点・会社別に記載しております。

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気浮揚策への期待と米国経済の回復傾向、さらには東京五輪決定等を受けて、企業の求人意欲には改善がみられました。また、当社グループの業績は、中高額帯並びに専門性の高い求人案件への事業シフトがマーケットニーズの実態に添う形となり、売上高はほぼ計画に沿った進捗で推移いたしました。

今年度の当社グループ経営は、過去3年間、全社で徹底的に取り組んできた以下の「PPP&I」を根幹としながら、さらなる強固な基礎作り(Consolidation)のもと、事業拡大(Expansion)にも取り組むために、「Consolidation and Expansion」を全社のキーワードとして進めてきております。

- ① Productivity 「生産性の向上」
- ② Profitability 「利益の絶対額と利益率の向上」
- ③ Professional 「人材紹介コンサルタントのプロフェッショナル化」
- ④ International 「日系企業の海外関連求人、外資系企業求人、グローバル人材領域の強化」

「Consolidation」に関しましては、③に掲げました「プロフェッショナル化」のさらなる追求により、コンサルタント全員の予算達成を目標として、①の「生産性の向上」を図ってまいりました。この方針が細部にわたり浸透した結果、本年入社した新卒社員の多くが早期に好成績を収め、また、④に掲げました「日系企業の海外関連求人」や「外資系企業求人」につきましても、決定数の増加と単価の上昇を実現しております。こうした結果を踏まえ、今後も引き続き方針に沿った強化を図り、②の「利益の絶対額と利益率の向上」を推し進めてまいります。

「Expansion」に関しましては、景気動向を注視しながらも新しい有望分野への進出や、既存分野の伸長等を進めることにより、売上規模の拡大を図る取り組みを始めております。その一環として、この10月には、東京本社にインターネット関連企業に特化した部署を、また製造業分野で特に成長が著しい「海外関連職」、「エネルギー・インフラ・プラント分野」、「高度エンジニア」の3チームを新設いたしました。今後もマーケットのニーズと自社の特性を見極めながら、専門性と単価の高い分野で事業を拡大していく予定です。

経費につきましては、販売費及び一般管理費を抑えた状態で推移させることができました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,370百万円(前年同期比16.6%増)となりました。セグメント別売上高は、東京本社が3,016百万円(同13.0%増)、横浜支店が353百万円(同6.7%増)、名古屋支店が378百万円(同18.5%増)、大阪支店が1,042百万円(同19.2%増)、京都支店が168百万円(同31.0%増)、神戸支店が149百万円(同27.0%増)、JAC Internationalが260百万円(同61.1%増)となっております。

利益面では、営業利益は1,515百万円(前年同期比39.4%増)、経常利益は1,516百万円(同38.8%増)、四半期純利益は904百万円(同70.8%増)となりました。セグメント別損益は、東京本社が894百万円(同30.4%増)、横浜支店が110百万円(同3.3%減)、名古屋支店が122百万円(同47.0%増)、大阪支店が287百万円(同79.6%増)、京都支店が61百万円(同194.2%増)、神戸支店が39百万円(同91.2%増)、JAC Internationalが△3百万円(前年同期は△47百万円)となっております。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの売上実績は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
東京本社	3,016	113.0
横浜支店	353	106.7
名古屋支店	378	118.5
大阪支店	1,042	119.2
京都支店	168	131.0
神戸支店	149	127.0
JAC International	260	161.1
合 計	5,370	116.6

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

なお、業界部門別に示すと、以下のとおりであります。

業界部門	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
電気・機械・化学業界	1,815	118.9
消費財・サービス業界	1,408	116.0
メディカル・医療業界	945	113.9
I T・通信業界	639	109.5
金融業界	521	124.9
その他	40	121.4
合 計	5,370	116.6

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売掛金182百万円増加、繰延税金資産（流動）47百万円減少等により、前連結会計年度末に比べて80百万円増加の4,546百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税等374百万円減少、未払費用228百万円減少、賞与引当金182百万円増加等により、前連結会計年度末に比べて627百万円減少の794百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益904百万円及び剰余金の配当200百万円等により、前連結会計年度末に比べ708百万円増加の3,752百万円となり、自己資本比率は82.5%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年2月7日開示の同予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ0百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,452	3,444
売掛金	347	529
貯蔵品	0	0
前払費用	61	58
繰延税金資産	165	118
その他	18	7
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	4,044	4,157
固定資産		
有形固定資産		
建物	164	169
減価償却累計額	△96	△104
建物(純額)	67	65
車両運搬具	11	11
減価償却累計額	△10	△10
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	237	216
減価償却累計額	△202	△188
工具、器具及び備品(純額)	34	28
リース資産	11	11
減価償却累計額	△4	△5
リース資産(純額)	7	5
有形固定資産合計	110	99
無形固定資産		
商標権	0	0
ソフトウェア	40	27
その他	15	3
無形固定資産合計	56	31
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
出資金	0	0
敷金及び保証金	243	240
長期前払費用	2	1
繰延税金資産	4	15
長期未収入金	14	10
貸倒引当金	△9	△10
投資その他の資産合計	255	258
固定資産合計	421	389
資産合計	4,466	4,546

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	132	28
リース債務	2	2
未払金	145	94
未払費用	352	123
未払法人税等	619	245
未払消費税等	97	75
預り金	32	21
前受収益	0	0
賞与引当金	—	182
解約調整引当金	14	16
流動負債合計	1,395	790
固定負債		
長期借入金	20	—
リース債務	5	3
固定負債合計	25	3
負債合計	1,421	794
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	619	619
資本剰余金	597	598
利益剰余金	1,884	2,588
自己株式	△56	△54
株主資本合計	3,044	3,752
純資産合計	3,044	3,752
負債純資産合計	4,466	4,546



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,604	5,370
売上原価	128	128
売上総利益	4,476	5,242
販売費及び一般管理費		
役員報酬	129	179
給料及び手当	1,762	1,876
法定福利費	267	300
退職給付費用	49	47
賞与引当金繰入額	143	182
貸倒引当金繰入額	—	1
地代家賃	280	298
減価償却費	57	41
広告宣伝費	245	289
その他	454	509
販売費及び一般管理費合計	3,389	3,727
営業利益	1,087	1,515
営業外収益		
受取利息	0	1
設備賃貸料	1	0
貸倒引当金戻入額	3	—
その他	1	0
営業外収益合計	7	2
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	2	1
経常利益	1,092	1,516
特別利益		
契約中途解約益	—	11
特別利益合計	—	11
特別損失		
固定資産除却損	4	14
投資有価証券評価損	49	—
特別損失合計	54	14
税金等調整前四半期純利益	1,038	1,513
法人税、住民税及び事業税	444	573
法人税等調整額	64	35
法人税等合計	508	608
少数株主損益調整前四半期純利益	529	904
四半期純利益	529	904

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	529	904
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	529	904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	529	904
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							合計
	東京本社	横浜支店	名古屋支店	大阪支店	京都支店	神戸支店	JAC International	
売上高								
外部顧客への売上高	2,670	331	319	875	128	118	161	4,604
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,670	331	319	875	128	118	161	4,604
セグメント利益又は損失(△)	686	114	83	160	21	20	△ 47	1,038

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							合計
	東京本社	横浜支店	名古屋支店	大阪支店	京都支店	神戸支店	JAC International	
売上高								
外部顧客への売上高	3,016	353	378	1,042	168	149	260	5,370
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,016	353	378	1,042	168	149	260	5,370
セグメント利益又は損失(△)	894	110	122	287	61	39	△ 3	1,513

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。